



第46号

平成29年10月31日

題字 山野井 整(ワークランドべにばな)
 絵 山口 真衣(山大附属特別支援学校)

一般社団法人 山形県手をつなぐ育成会

編集・発行 ● 〒990-0021 山形市小白川町二丁目3-31 山形県総合社会福祉センター内 TEL(023)623-6572 FAX(023)623-6571

E-mail ● y-ikuseikai@coda.ocn.ne.jp ホームページ ● <http://yamagata-ikuseikai.net/>

ブログ ● <http://yamagatakenikuseikai.blog.fc2.com/> フェイスブック ● 山形県手をつなぐ育成会Facebook 発行責任者 ● 田中 俊久

できました。
 田中俊久大会会長は、花笠ほいぶ隊による知的しょうがい者の疑似体験セミナーの活躍ぶりに期待する旨の挨拶を述べられました。また、吉村美栄子県知事、志田英紀県会議長、加藤國洋尾花沢市長からのご祝辞もいただきました。

育成会活動及び本人活動に功績あった人々への表彰は次の方々です。

○山形県知事感謝状 佐藤美恵子氏(長井市)

○大会会長表彰状 齊藤京子氏(尾花沢市)、工藤泰子氏(本人・大石田町)、藏津松雄氏(戸沢村)、荒川義樹氏(本人・戸沢村)、五十嵐一美氏(鶴岡市)



齊藤京子氏大会会長表彰受賞

第29回山形県知的しょうがい者福祉大会は9月10日、尾花沢市文化体育施設で456人が参加して盛大に開催することが

第29回山形県知的しょうがい者福祉大会 尾花沢市で本人大会

元気で積極的な皆さんの活躍を見ることができた

育成会の大会決議は次のとおり満場一致で10項目決定しました。

非常災害時への対策、所得保障、福祉サービスの安定化、わかりやすい情報提供、子育て支援の充実、教育環境の整備、就労支援、グループホームの整備、相談支援の発展、高齢化支援という内容でした。

また、本人大会決議は8項目提案され満場一致の賛同を得ました。その内容は次のとおり。

チャンスの付与、働く場の提供、わかりやすい説明、自己決定、サービス増、本人活動の場を増やすという内容でした。

大会の後半では、恒例になった地元の人々たちによる「知る見るプログラム」を実施しました。北村山パージョンを各事業所の利用者が支援者のサポートを得て、創り上げたものです。

リラックステ操では、北村山ままりの音頭で皆さんなごやかに会場を盛り上げました。

○×クイズ、サイコロトークでは、ステージ上の本人たちだけでなく、観客席の人たちも積極的に参加することができました。今までのものをブラッシュアップした内容になりました。

今年で二年目「ライフステージに合った地域福祉充実事業」開催

赤い羽根共同募金配分事業

小島幸子氏による講演 5月23日

地域生活拠点ってなあに？

5月23日、小島幸子氏（栃木県手をつなぐ育成会会長）による「障害のある人の将来の暮らし方」の研修会を行いました。会場は山形市総合福祉センター。会場も定員オーバーの75人もの人が集まりました。地元栃木市において、お母ちゃんの立場から「地域生活拠点」づくりを奔走している様子をユーモアを交えた話

はとでも勇気づけられました。

親として素朴な要望を叶えられるようにすることが原点だということ。親が病気や急用の時ショートステイを利用したい、「子どもがパニックで家族が手に負えない時かけつけてくれるといいな」「24時間緊急時相談できると安心」などです。自立支援協議会の「障がい者等支



小島幸子氏の熱弁

援担当者会議」のメンバーとなって、課題解決のため行政にも積極的に働きかけているということでした。

その結果、「栃木市くださいいじネット」が構築されました。一つ目が「24時間相談支援体制のための休日や夜間の携帯電話による緊急連絡体制」ができました。

二つ目は緊急時支援を図るため種々の機関をつなぐコーディネート機能をもち「相談支援センター」もできています。

三つ目は緊急短期入所、緊急駆け付けに係る人件費の予算をつけることができました。

四つ目は、地域の関係者や関係機関との共通理解を図る研修等に努力したことです。

手をつなぐのマンガ「毎日がすったもんだ」のお母ちゃんが語る 障害のある人の将来の暮らし方

地域生活支援拠点ってなあに？

一般社団法人栃木県手をつなぐ育成会
会長 小島 幸子

平成26年5月23日 一般社団法人 山形県手をつなぐ育成会 研修会

プレゼンで用いられたスライド

栃木市地域生活支援拠点は、市役所の中にある相談支援センターです。そこが基幹相談支援を行えるようになったのは成果といえます。

花笠ほーぷ隊のワークショップ 6月8日

疑似体験をやってみよう

疑似体験・理解啓発セミナーを実施している「花笠ほーぷ隊」はお座敷がかかればあちこちに出発しています。

6月8日は鶴岡市総合保健福祉センターでワークショップを開催しました。参加者も52人もいて、関心のある人が多くなってきていることを実感しています。

講師は、5人。古澤薫氏（県育成会）、長谷川薫氏（鶴岡市親の会）、



軍手をはめてバンザイ？これからなにをするんですか



花笠ほーぷ隊参上

富樫幸子氏（鶴岡市親の会）、佐藤洋美氏（金山町育成会）、阿部信子氏（鶴岡養護学校保護者）。講師の話も体験内容も良く吟味されたものです。今回は地元鶴岡を中心に構成されたメンバーとなりました。楽しくやっているうちになるほどと納得する内容になっていきます。

あー、知的障がいのある子ってこんな風を感じ、こんなことが困っているのか。こんな言い方では、障がいのある子を困らせていたなと気付かされます。こんな合理的配慮が必要だったんだ。ごく当たり前に思っていたことが、障がい者には違った見え方や感じ方だったと思わされます。

これからも声をかけていただければ時間の許す限りどこへでも参上します。楽しいひと時を過ごす研修にします。知的障がいのことが実感でき、新たなかわりをしようと努力し出すはず。これが「共生社会」づくりへの一歩になればと願っています。

第7期 一般社団法人山形県手をつなぐ育成会収支計算書
平成28年4月1日より平成29年3月31日まで

科 目	予 算 額	実 績	差 異	摘 要
I 収入の部				
1. 会費収入	2,780,000	2,278,000	502,000	
正会員会費収入	2,480,000	2,248,000	232,000	団体38万円 個人934人
賛助会員会費収入	300,000	30,000	270,000	3団体
2. 事業収入	465,000	328,800	136,200	
福祉大会	150,000	127,200	22,800	@600×212名
レク大会	300,000	201,600	98,400	@300×672名
その他収入	15,000		15,000	
3. 補助金収入	2,887,000	2,887,640	△ 640	
ぜんち共済	200,000	200,000	0	広告料ほか
地方公共団体助成金	280,000	280,000	0	新庄最上地区市町村より
サポート協会	140,000	140,000	0	生活サポート協会より
相談員研修	107,000	107,640	△ 640	相談員研修委託費
その他の助成金	360,000	360,000	0	会報広告代 JIC保険
レク大会助成金	1,800,000	1,800,000	0	スポーツ協会(知レク大会)
4. 負担金収入	850,000	877,880	△ 27,880	
文書管理負担金	740,000	740,000	0	元育成会運営施設より
機関紙配布配分金収入	110,000	137,880	△ 27,880	全育連より
5. 寄付金収入	130,000	703,000	△ 573,000	
福祉大会寄付金	130,000	703,000	△ 573,000	福祉大会広告料
6. 雑収入	63,000	64,175	△ 1,175	
受取利息	3,000	875	2,125	預金利息
雑収入	60,000	63,300	△ 3,300	事業所協議会会費
当期収入合計	7,175,000	7,139,495	35,505	
前期繰越収支差額	18,444,802	18,444,802	0	
収入合計	25,619,802	25,584,297	35,505	
II 支出の部				
1. 事業費	7,175,000	7,378,048	△ 203,048	
給料手当	2,650,000	2,876,098	△ 226,098	黒木、古澤、八鍬給与
職員諸手当	460,000	466,370	△ 6,370	賞与・通勤手当
臨時雇賃金	10,000	10,000	0	知レク大会看護師報酬
福利厚生費	30,000	31,224	△ 1,224	労働保険料
旅費交通費	400,000	492,650	△ 92,650	理事会・研修会ほか交通費
研修費	50,000	73,500	△ 23,500	研修会費
通信運搬費	320,000	288,578	31,422	郵送料・電話料ほか
消耗什器備品費	50,000	0	50,000	
消耗品費	500,000	467,486	32,514	事務用品ほか
修繕費		5,400	△ 5,400	パソコン修理代
印刷製本費	300,000	271,944	28,056	コピー代・印刷代ほか
会議費	50,000	51,730	△ 1,730	打合せ会議費
賃借料	1,000,000	929,916	70,084	事務所家賃・コピー機リースほか
広報費	150,000	193,860	△ 43,860	会報印刷代
保険料	73,000	56,443	16,557	知レク大会傷害保険
手数料	90,000	88,612	1,388	振り込み手数料ほか
諸謝金	80,000	125,550	△ 45,550	講師謝礼金ほか
支払負担金	400,000	410,932	△ 10,932	全育連・東北B、各種団体
支払助成金	120,000	120,000	0	4地区レク教室助成金
委託費	80,000	77,960	2,040	ビブスクリーニング他知レク関係
雑費	200,000	257,345	△ 57,345	福祉大会弁当代、お茶代等
租税公課	82,000	82,450	△ 450	市、県民税、役員変更関係
予備費	80,000		80,000	
2. 固定資産取得支出	0	0	0	
ソフトウェア購入支出			0	
当期支出合計	7,175,000	7,378,048	△ 203,048	
当期収支差額	0	△ 238,553	238,553	
次期繰越収支差額	18,444,802	18,206,249	238,553	

第8期（平成29年度） 一般社団法人山形県手をつなぐ育成会予算

(単位：円)

科 目	前年度予算	本年度予算	増 減	摘 要
I 収入の部				
1. 会費収入	2,780,000	2,190,000	△ 590,000	
正会員会費収入	2,480,000	2,160,000	△ 320,000	2000×900人 団体会費360000
賛助会員会費収入	300,000	30,000	△ 270,000	
2. 事業収入	465,000	465,000	0	
福祉大会	150,000	150,000	0	参加費600×250
知レク大会	300,000	300,000	0	参加費300×1000名
相談員研修		0	0	
支部会長研修費	15,000	15,000	0	資料代500×30名
3. 補助金収入	2,887,000	2,757,000	△ 130,000	
ぜんち共済	200,000	200,000	0	会報・封筒等広告料ほか
地方助成金	280,000	150,000	△ 130,000	北村山市町村より
サポート協会	140,000	140,000	0	障害者サポート協会より
相談員研修	107,000	107,000	0	相談員研修委託費
その他の助成金	360,000	360,000	0	JIC会報広告料・赤い羽根
レク大会助成金	1,800,000	1,800,000	0	障害者スポーツ協会より
			0	
4. 負担金収入	850,000	850,000	0	
文書管理負担金	740,000	740,000	0	6施設
地域助成金	110,000	110,000	0	手をつなぐ配布活動助成
5. 寄付金収入	130,000	250,000	120,000	
福祉大会寄付金	130,000	250,000	120,000	福祉大会広告料
6. 雑収入	63,000	63,000	0	
受取利息	3,000	3,000	0	預金利息
雑収入	60,000	60,000	0	地域事業所協議会より
事業活動収支計	7,175,000	6,575,000	△ 600,000	

II 支出の部				
1. 事業費	7,175,000	6,575,000	△ 600,000	
給料手当	2,650,000	2,650,000	0	事務局3名分給料
職員諸手当	460,000	460,000	0	賞与・通勤手当
臨時雇賃金	10,000	10,000	0	知レク大会看護師報酬
福利厚生費	30,000	30,000	0	労働保険料
旅費交通費	400,000	200,000	△ 200,000	理事会・研修会ほか交通費
研修費	50,000	50,000	0	研修会費
通信運搬費	320,000	220,000	△ 100,000	郵送料・電話料ほか
消耗什器備品費	50,000	50,000	0	
消耗品費	500,000	500,000	0	事務用品・知レク参加用他20万
印刷製本費	300,000	300,000	0	大会冊子印刷・コピー加工代
会議費	50,000	50,000	0	理事会等打合せ会議費
貸借料	1,000,000	800,000	△ 200,000	事務所家賃48万ホ-機20万他
広告報費	150,000	100,000	△ 50,000	会報印刷代
保険料	73,000	73,000	0	知レク大会傷害保険
手数数料	90,000	90,000	0	振込手数料・決算税務資料作成
諸謝金	80,000	70,000	△ 10,000	大会謝礼金ほか
支払負担金	400,000	400,000	0	全育連・東北・関係団体会費
支払助成金	120,000	120,000	0	地区レク教室30,000×4地区
委託費	80,000	80,000	0	ビ-スクリーニング・発送業務
雑費	200,000	200,000	0	福祉大会・知レク弁当お茶 他
租税公課	82,000	72,000	△ 10,000	法人税 県22,000 山形市50,000
予備費	80,000	50,000	△ 30,000	
支出合差計	7,175,000	6,575,000	△ 600,000	
収支差額	0	0		
經常支出計	7,175,000	6,575,000		

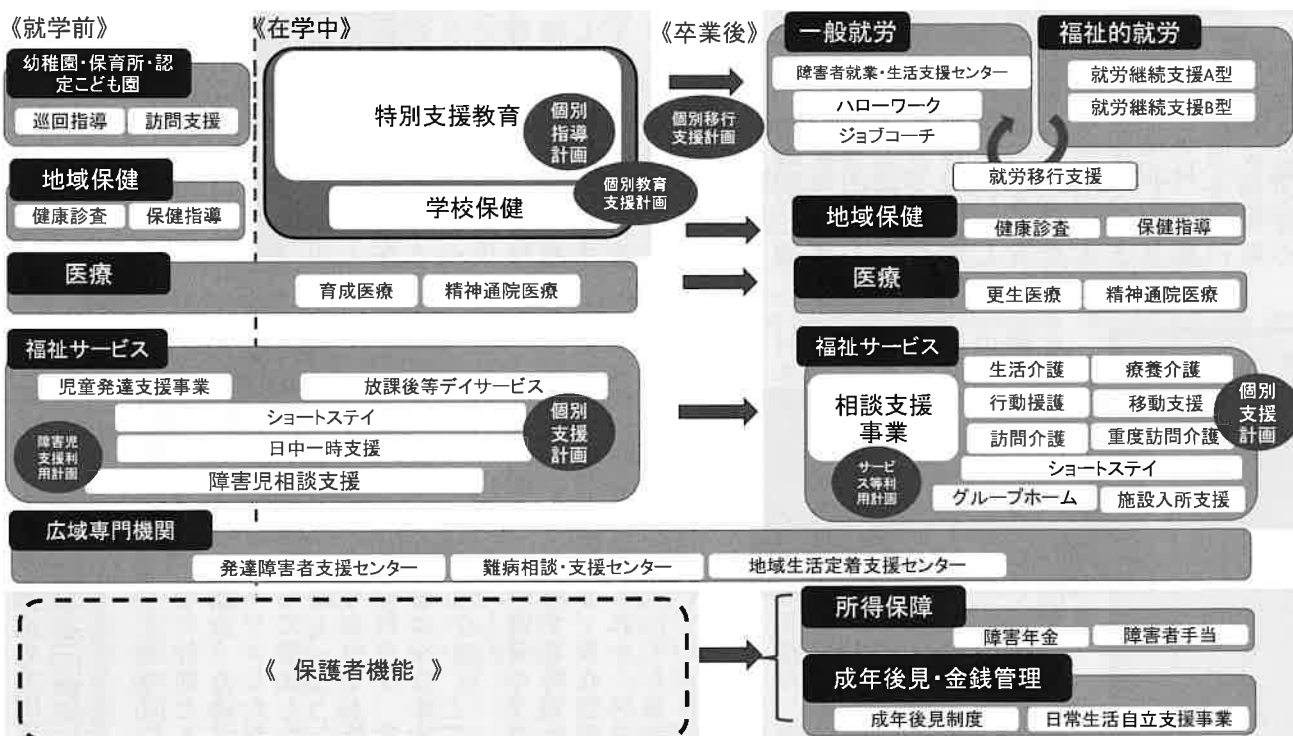


大村美保氏のわかりやすい話

7月28日は、大村美保氏（筑波大学助教・社会福祉学博士）をお招きしました。参加者も予定をはるかに超える85名となり、山形市総合福祉センター交流ホールで行いました。障がい者の地域生活を支えるサービスは複雑になっています。それは地域における利用者の多様なニーズに対応するためです。それを十分理解し活用することが求められています。提供側もそれぞれのニーズに合ったサービスを行う必要があります。それが合致してこそ互いの満足が得られることとなります。

障がい者は依存先が障がいのない

人と違ってごく限られていくことに気づくことです。選択肢が極めて限られています。障がい者は親や施設などしか頼るものがありません。それをさらに拡大していかなければならないのです。大村氏は「ライフストーリー」を提案されました。本人に関する生活や人生についての記録づくりです。定期的な見直しによって本人をより理解できる手助けのツールにとるといことです。



障がい児者のライフステージに即した医療・教育・保健・福祉・労働等のサービス概要

ぜんちのこども傷害保険

個人賠償 弁護士費用 ケガ入院・通院

- ◎ 個人賠償責任補償
- ◎ 権利擁護費用補償 (弁護士費用)
- ◎ ケガでの入通院保障



特別支援学級に通う児童・生徒のために開発された、障がい児のための専用保険です。知的障がいや発達障がいのある子どもたちを、事故や虐待被害などからお守りし、安心した学校生活を送っていただけます。

詳しい資料のご用命は、下記代理店をお願いいたします。

〇取扱代理店

株式会社エフシーバンク

TEL 022-348-4481

〒981-3213 宮城県仙台市泉区南山3-11-18

〇引受保険会社

ぜんち共済株式会社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3丁目5番8号岩本町シティラザビル5階

10月4日
第16回知的障がい者
レクリエーション大会開催



車いす玉入れ

平成29年度山形県知的障がい者レクリエーション大会も第16回を数えることになりました。今年の参加団体は33団体、参加選手が888人、スタッフ・ボランティアが1111人でした。10月4日、山形県運動公園「屋内多目的コート」で行いました。昨年に引き続きの場所となりました。天候に左右されず、コンパクトにまとめたレクリエーション大会にするのができました。いつものとおり「サブグラウンド」がいいか、「屋内多目的コート」にするかで前日に様々協議した結果に決定したものです。当日は、急な冷え込みもあり、結果的には良い判断でした。当然、「サブグラウンド」で予定していた種目は変更しての実施となりました。100m走、200m走は全て50m走で行いました。また、綱引きは場所の関係もあって、玉入れに変更しました。リレーはコーン折り返しによるバトンリレーで行いました。車いす玉入れも初めて行ったのは好評でした。

応援も熱のあるものになりました。今年も「せせらぎの家」が応援優秀賞に輝きました。衣装をそろえ、みんなで力いっぱい応援を行いました。事業所の利用者の皆さんは、毎年楽しみにしていると言います。スタッフ・ボ

ランティアなどの多くの方々のご支援・ご協力により運営できる大会です。今後も県をはじめ県民の方々のご理解に期待し、益々発展する大会にしたいと思います。

第57回東北ブロック大会開催



第57回東北ブロック大会全体会

10月21日～22日の二日間第57回手をつなぐ育成会東北ブロック大会・本人大会が、福島県郡山市磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」で開催されました。参加者は506名。山形県からは56名の参加でした。古川慎治氏（のぞみの園管理課長）の「中央情勢報告」では、障害者総合支援法施行3年後の見直しを中心に話されました。常時介護を要する障害者の支援が進展していくということです。育成会が力を発揮するには、みんなの声を束ねて、声を上げていくことを強調していました。

二日目の記念講演は、渡部伸氏（親なきあと相談室代表）による「親あるうちに親なきあとの準備を」でした。子どものことを話せる仲間が大事であり、状況は少しずつ良くなっていると楽観的にとらえ、最低限の準備はしておくことを指摘していました。この二日間学ばべきものが多い有意義な大会でした。来年は山形が本大会を引き受けます。平成30年9月8日～9日、天童市が会場です。山形県育成会が結集して準備を進めていきます。

9月23-24日
第4回手をつなぐ育成会全国大会
北海道札幌大会に参加して



第4回全国育成会全国大会 特別分科会
全国の理解啓発活動に関する学習会

全国と同じ立場の仲間たちに出会うためにワクワクした気持ちで参加した札幌大会でした。その中でも特別分科会は、参加者は少なかつたものの、とても活気があった分科会でした。「合理的配慮」理解啓発キャラバン隊全国サミットと称する特別分科会です。その名の通り、現在啓発活動を行っている人、これから啓発活動を作ろうとしている人たちが集まり、これからの活動についての具体的な質問が飛び交う、とても有意義な分科会でした。コーディネーターの又村あおいさんが、啓発活動は、福祉人権、社会の三つの教育に関わる素晴らしい活動だ、とおっしゃっていた事がとても印象に残りました。そして夜の交流会、二日目の記念式典での久保会長の挨拶でも啓発隊の事に触れており、今後の育成会活動として大変期待しているのだという事を感じてきた全国大会でした。

編集後記

今号より8頁から6頁だてになりました。県育成会の情報はコンパクトにまとめてお伝えします。会員の声をお聞かせください。

2017年度版

生活サポート総合補償制度

知的障害児者・自閉症児者のための

AIUの普通傷害保険(知的障害者等福祉団体傷害保険特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット)

被保険者 (補償の対象者) 知的障害児者または自閉症児者をご加入できます。	補償期間 (保険のご契約期間) 2017年4月1日から 1年間	掛金 入院2日目から補償プランB/ 掛金… 23,000円(保険料19,810円)
		掛金 入院4日目から補償プランA/ 掛金… 17,000円(保険料14,810円)

詳細は取扱代理店にお問い合わせいただくか、専用のパンフレットをご参照ください。また、ご契約に際しましては、事前に重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)を必ずお読みください。引受保険会社の損害保険募集人は、保険契約の締結の代理権を有しています。

ご加入のお問合せはこちら
山形県知的障害児者生活サポート協会
〒990-0041 山形市緑町1-9-30 緑町会館4階
山形県知的障害者福祉協会内
TEL: 023-664-0256 FAX: 023-623-9123
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

保険のお問合せはこちら

■ 担当代理店 株式会社 ジェイアイシー 南東北支店 〒980-8485 宮城県山形市青葉区中央1-2-3 仙台マークワン18F TEL: 022-265-0010 FAX: 022-264-0081 受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)	■ 引受保険会社 AIU損害保険株式会社 仙台営業支店 〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-8-3 富士火災仙台ビル2F TEL: 022-726-7351 http://www.aiu.co.jp 受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)
---	---

(A-000722 2018-03)

◇編集委員【押切イツ子・武田満・山口由美子 事務局＝黒木仁・古澤薫・八鍬三郎】